

大礼委員会（第6回）議事概要

1 日 時：平成31年4月15日（月）13:30～13:47

2 場 所：第一会議室

3 出席者：

（委員長）宮内庁長官

（副委員長）宮内庁次長，侍従長，東宮大夫，式部官長

（委員）審議官，宮務主管，皇室経済主管，侍従次長，東宮侍従長，
式部副長（儀式），式部副長（外事），書陵部長，管理部長

（参事）調査員

（設置内規第2条第2項に基づく出席者）掌典長

4 議事概要

（1）第4回天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴う式典委員会配付資料の説明

○ 資料1「第4回天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴う式典委員会配付資料」を審議官から説明。説明の主な内容は次のとおり。

- ・ 3月19日に「天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に伴う式典委員会」の第4回会議が開催された。宮内庁からは山本長官が出席した。
- ・ 「天皇陛下御在位三十年記念式典の挙行について」，「内閣総理大臣夫妻主催晩餐会における文化行事の総合アドバイザーについて」について，それぞれ事務局より説明があった。

- ・ 「剣璽等承継の儀の細目について（案）」、「即位後朝見の儀の細目について（案）」、「退位礼正殿の儀の細目について（案）」については、事務局の説明の後、宮内庁長官から、いずれも妥当なものであると考えるとの趣旨の発言が、内閣法制局長官から、憲法の趣旨に照らして適切なものであるという趣旨の発言があり、案のとおりとすることが式典委員会です承された。
- ・ 内閣官房長官から、「退位礼正殿の儀」については、挙行日の1週間前を目途に、「剣璽等承継の儀」及び「即位後朝見の儀」については、御即位当日の5月1日に、それぞれ国事行為である国の儀式として行うことについて閣議決定を行うとともに、細目については、官報で公示することとしたいという趣旨の発言があった。
- ・ 「御即位に伴う慶祝行事等について（案）」については、事務局から説明があり、各府省において慶祝行事を行うということ等を内容として、式典委員会において了承された。
- ・ 「即位礼正殿の儀等への外国からの参列者の範囲について」については、事務局から説明があり、説明のとおり各国に連絡することが式典委員会です承された。

（２）即位の礼及び大嘗祭関係諸儀式等（斎田点定の儀まで）の式次第について

○ 資料２「即位の礼及び大嘗祭関係諸儀式等（斎田点定の儀まで）の式次第（案）」を式部副長（儀式）から説明。主な内容は以下のとおり。

- ・ 即位に関する諸儀式（斎田点定の儀まで）について、平成大礼の儀式の枠組みを基本に、次第の立案を行った。

- ・ 平成大礼において、昭和天皇の崩御に伴う諒闇中に行われた「賢所の儀」、「皇霊殿神殿に奉告の儀」については、今回の場合は諒闇中でないことを踏まえて、大礼の執行の円滑化を任務とする大礼委員が儀式を見届けるために参列することとし、大礼委員の着床、拝礼を追加した。
また、平成大礼で「次に」としていた天皇陛下御代拝の記載を、剣璽等承継の儀と同時刻に御代拝を設定すべく、「午前１０時３０分」とした。
- ・ 「賢所に期日奉告の儀」、「皇霊殿神殿に期日奉告の儀」については、平成大礼で行われた次第を基にし、御参列の表記は「皇嗣」「皇嗣妃」を追記した。
天皇がお出ましになる時刻の表記は、平成大礼では「次に」としていたが、「午前１０時３０分」と時刻を記載した。
- ・ 「神宮神武天皇山陵及び昭和天皇以前四代の天皇山陵に勅使発遣の儀」については、平成大礼で行われた次第を基にし、平成大礼で「次に天皇がお出ましになる。」としていたものを「午後２時、天皇がお出ましになる」と時刻を記載した。
- ・ 「神宮に奉幣の儀」、「神武天皇山陵及び昭和天皇以前四代の天皇山陵に奉幣の儀」については、平成大礼で行われた次第を基にした。
神宮に奉幣の儀は、平成大礼のとおり。
山陵に奉幣の儀は、勅使着床時刻を正時（午前１０時若しくは午後２時）とし、それが祭典開始時刻となるよう記載した。
- ・ 「斎田点定の儀」は、平成大礼で行われた次第を基にした。
式次第中、大礼委員の着床について、平成度の実際の動きに合わせ、「次に掌典長が祝詞を奏する。」の次の行に「時刻、大礼委員が幄舎に着床する。」と記載した。
斎田点定の儀についても「午前１０時」と時刻を記載した。

- 「即位の礼及び大嘗祭関係諸儀式等（斎田点定の儀まで）の式次第」について、案のとおりとすることが了承された。

（３）委員長挨拶

- 退位礼正殿の儀まであと半月となった。御退位の関係の諸儀式が滞りなく執り行われるよう、全庁、心を一にして、務めていただきたい。
- ５月１日には皇太子殿下が皇位を継承され、剣璽等承継の儀、即位後朝見の儀等が執り行われる。準備に万全を期すよう、改めて関係の皆さんにお願いしたい。
- 重要な諸儀式が切れ目なく続いていくことになる。健康に留意し、職務に精励してもらいたい。

（４）次回日程

- 次回会議については、調整の上、別途連絡することとされた。

以 上